アイシンの強みと
中長期事業戦略





株式会社アイシン　（証券コード：7259）
グループ経営戦略本部　執行幹部
収益力向上･IR/SR強化担当
福重　友治

2026.7.3

 © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

1. 会社概要

2. 事業環境とアイシンの強み

3. アイシンの中長期事業戦略

4. 財務戦略（資本配分と株主還元）

5. 本日のまとめ

 © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

1. 会社概要

2. 事業環境とアイシンの強み

3. アイシンの中長期事業戦略

4. 財務戦略（資本配分と株主還元）

5. 本日のまとめ

1

 © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

経営理念



IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

1分でわかるアイシン

トヨタグループの一員としてグローバルに事業を展開する自動車部品メーカー*1

設立
1965年
（愛知工業と新川工業が合併）



売上高
約5.1兆円
（2025年度実績）



自動車部品
売上ランキング※2
世界7位・国内2位



グローバル拠点
187社
（2025年度末時点、持分法適用会社除く）



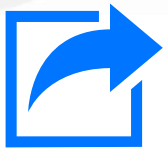
グローバル従業員数
約11万人
（2025年度末時点）



時価総額
約1.6兆円
（2026年7月2日時点）



株価
2,252円
PBR　0.74倍※3
（2026年7月2日時点）



配当利回り
3.33%
（2026年7月2日時点）



総還元性向
75.4%
（2025年度実績）

※ 1:2024年1月～12月 売上収益 出典「Automotive News」※ 2:主要株主 トヨタ自動車22.34%（2026年3月末時点　発行済株式（自己株式を除く）の総数に対する所有株式数の割合（%））
※ 3:PBR：1株当たり親会社所有者帰属持分（2026年3月末時点）と2026年7月2日終値より算出

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

事業・商品

クルマの「走る・曲がる・止まる」全ての領域に渡る商品群

走る（駆動ユニット・熱マネジメント）

世界シェア NO.1



オートマチック
トランスミッション（AT）



ハイブリッド
トランスミッション（HEV）



eAxle※

曲がる・止まる（ブレーキ・運転支援他）



回生協調ブレーキ

国内シェア NO.1



電動パーキング
ブレーキ



自動駐車システム

安心・快適（ドア・空力）

世界シェア NO.1



パワースライドドア

国内シェア NO.1



サンルーフ



パワーバックドア

アフターマーケット

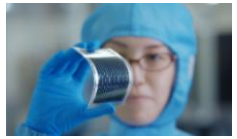


補修部品・用品（80品目以上）

情報・サービス・エネルギー 他



乗り合い送迎サービス
「チョイソコ」



ペロブスカイト
太陽電池

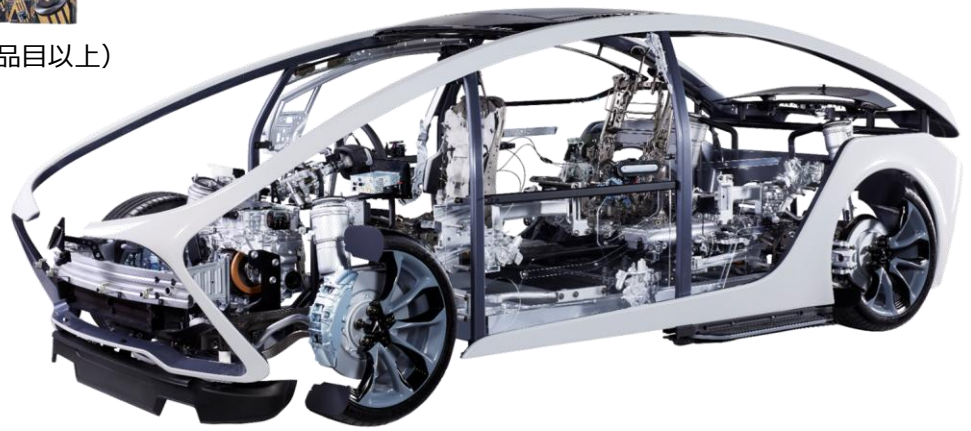


バイオ燃料
「Bio-M-Coke®」

カーメーカー並みのテストコース保有
国内2拠点・北米1拠点





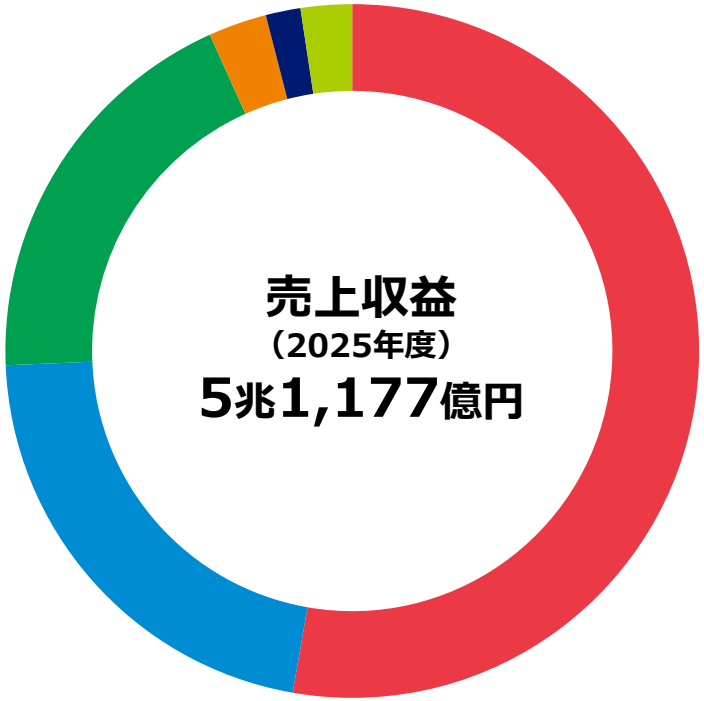


カーメーカーに最も近いクルマをよく知る自動車部品メーカー

※:電気自動車の動力源となる電動ユニット

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

事業別売上収益



パワートレイン 52.7% 2兆6,994億円


eAxle


ハイブリッド
トランスミッション（HEV）


世界シェア NO.1
オートマチック
トランスミッション（AT）

走行安全 21.6% 1兆1,051億円


回生協調ブレーキ


自動駐車システム

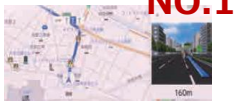
車体 18.9% 9,684億円


世界シェア NO.1
パワースライドドア


国内シェア NO.1
サンルーフ

LBS* 他 2.7% 1,393億円


乗り合い送迎サービス
「チョイソコ」


国内シェア NO.1
カーナビゲーション



リアルタイム音声認識アプリ
「YYSystem」

アフターマーケット 1.6% 830億円


補修部品・用品（80品目以上）

エナジーソリューション他 2.4% 1,223億円


家庭用コージェネレーションシステム


ガスヒートポンプエアコン（GHP）

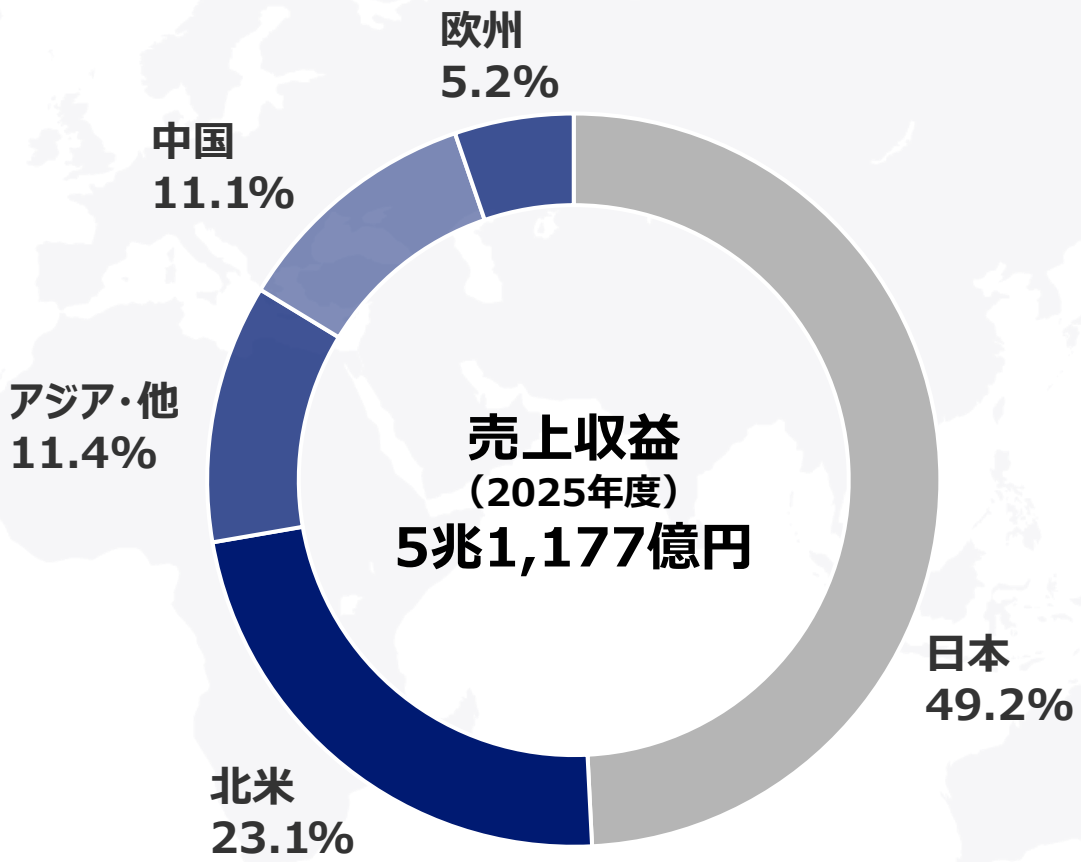
幅広い事業領域でクルマの「走る・曲がる・止まる」に貢献

※ LBS：Location Based Service（位置情報活用サービス）

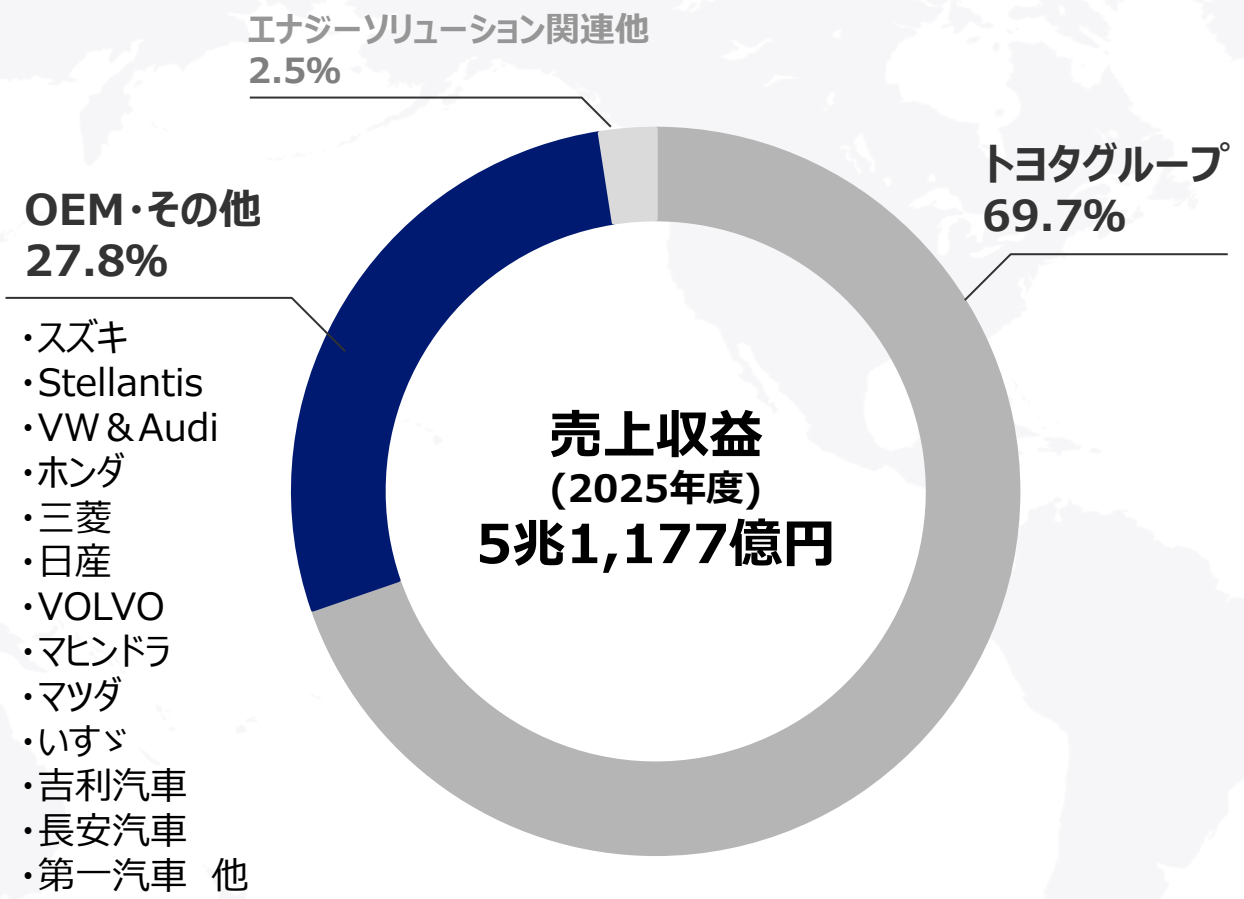
IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

地域・顧客別売上収益

地域別売上収益



顧客別売上収益



グローバルに事業を展開。トヨタグループに加えて世界の主要カーメーカーと取引

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

新規事業（エネルギーバリューチェーンの拡大）

ペロブスカイト太陽電池

- 「薄型・軽量・曲がる」という特徴を持つ次世代太陽電池
- 弊社安城工場での実証実験に加えて、**大林組や愛知県をはじめとする複数パートナーとの実証実験を実施**



愛知県内公共建築物での初実証
（愛知県庁西庁舎）



大林組技術研究所屋上に設置された
ペロブスカイト太陽電池

バイオ燃料「Bio-M-Coke®」

- アイシングループで独自開発したバイオ燃料 Bio-M-Coke®の生産会社を**インドネシアに設立し、26年より本格的に生産開始**
- **国内外からの強い関心を受け、今後生産体制の拡充を図る**



バイオ燃料の生産を担う
PT. ATP Bio Indonesia



原料となるヤシ殻



バイオ燃料　Bio-M-Coke®

次世代エネルギー技術の実証と事業化を通じて、エネルギーバリューチェーンの拡大を加速

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

新規事業（YYSystem）

概要

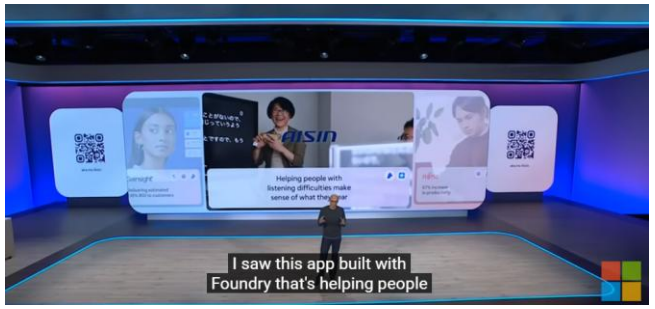
- **アイシン独自開発の意志疎通支援アプリケーション**
- **発話や音を可視化し、リアルタイムで文字起こしが可能**
- 騒音環境下でも変換率、認識精度が高く、
- 周囲の反応や話者の感情、会話の雰囲気まで伝えられる





【導入実績】
累計300万ダウンロード突破
法人向けには鉄道・ホテル・ドラッグストア等、**累計250社へ導入**

Microsoftが全世界に紹介※





https://www.youtube.com/watch?v=UQpwpM9P0j0
※Microsoft Build：毎年開催されるMicrosoft社主催の開発者向けイベント

SoftBankグループが展開するAIスマートグラスと連携

- AIスマートグラス「AiLENS」と連携し、音声認識・字幕表示を実現
- 会話内容をリアルタイムで文字起こしし、視界内に表示



THINKAR
Enhancing Vision, Empowering You.
×
Probe　文字起こし　レセプション

「いつでも、どこでも、誰とでも会話ができる」ことを目指し、幅広いユーザへ導入拡大

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

1. 会社概要

2. 事業環境とアイシンの強み

3. アイシンの中長期事業戦略

4. 財務戦略（資本配分と株主還元）

5. 本日のまとめ

2

 © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

外部環境認識

不確実性の高まり

世界情勢

- 地政学リスク
- 政策多様化

×

市場の動向

- BEVの減速
- PHEV/HEVの成長
- AT/CVTの揺り戻し

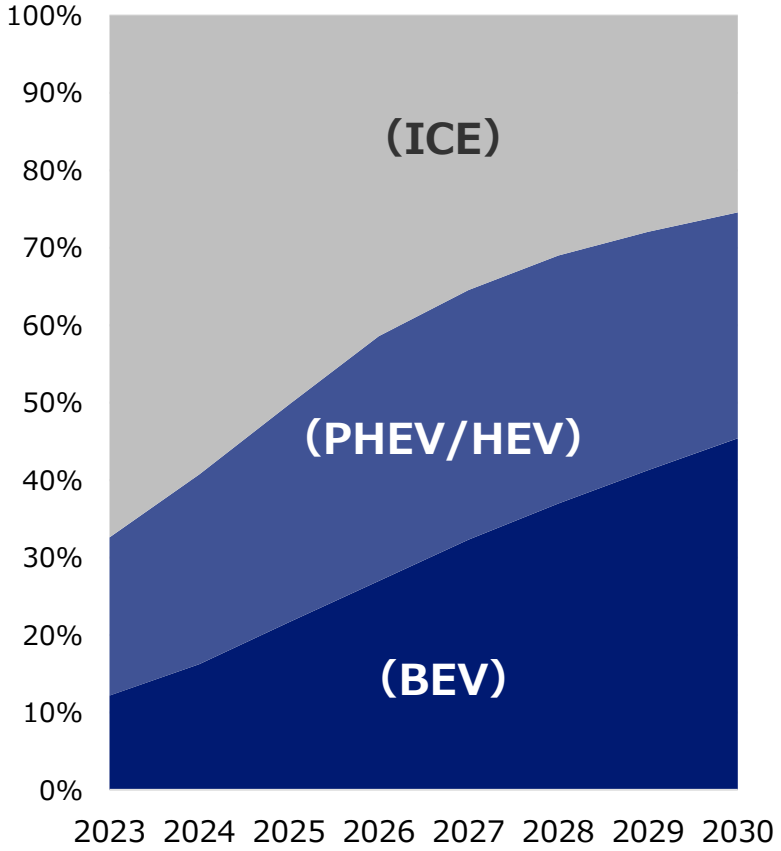
世界情勢、自動車業界の市場動向はますます不確実性が高まっている

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

自動車市場の環境変化

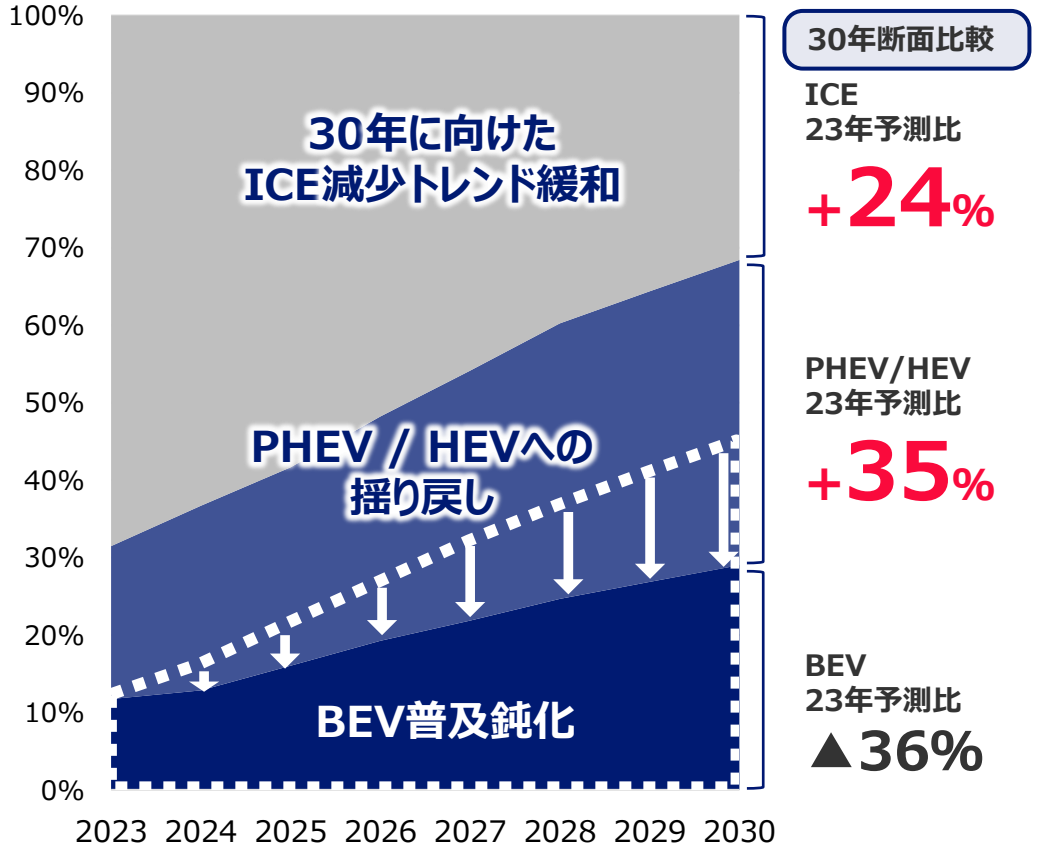
市場予測（2023年）※25年中期経営計画公表時点

23年時点の予測では30年にかけてBEVが急伸



同 最新見通し（2026年）

BEVの鈍化でICE、PHEV/HEVのオポチュニティが大きく拡大
特に昨今の環境規制の見直しでICEへの需要が一段と伸長



環境規制の見直し等によりBEVが鈍化し、市場環境が大きく変化

※外部データを基に当社調べにて算出

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

アイシンの強み

幅広い商品群



フルラインアップの商品群で
市場環境の変化に柔軟に対応

×

グローバル供給体制



グローバルで開発・生産拠点を保有
地域のニーズに即した商品供給を実現

強みを活かして、市場環境の変化や地域別ニーズに柔軟に対応

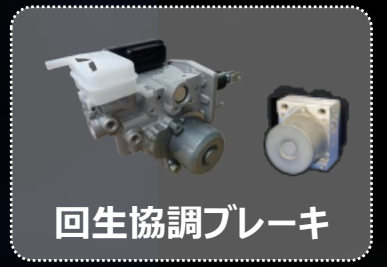
IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

アイシンの強み（幅広い商品群）

電動ユニット搭載







フルラインアップ戦略でお客様の期待に応えながら、持続的な成長を実現

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

アイシンの強み（グローバル供給体制）

アイシングループ　187社（うち生産会社128社、持分法適用会社除く）　※2025年度末時点



幅広い生産技術力とものづくり力を土台とした、グローバルでの供給体制が強み

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

1. 会社概要

2. 事業環境とアイシンの強み

3. アイシンの中長期事業戦略

4. 財務戦略（資本配分と株主還元）

5. 本日のまとめ

3

 © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

2028年中期経営計画の位置づけ

環境変化を好機として持続的な成長を実現

中長期事業戦略
(2023-2030)

25年中期経営計画
（2023-2025）

28年中期経営計画
（2026-2028）

2026年2月公表

3つの優先課題
（マテリアリティ）







経営理念
“移動”に感動を、
未来に笑顔を。

2030年の目標に向けて着実に経営を推進し、2030年以降の持続的な成長に繋げる

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

2028年･2030年経営目標

2028年経営目標

営業利益率 ： 6.2%
ROIC ： 11.0%
ROE ： 10.0%

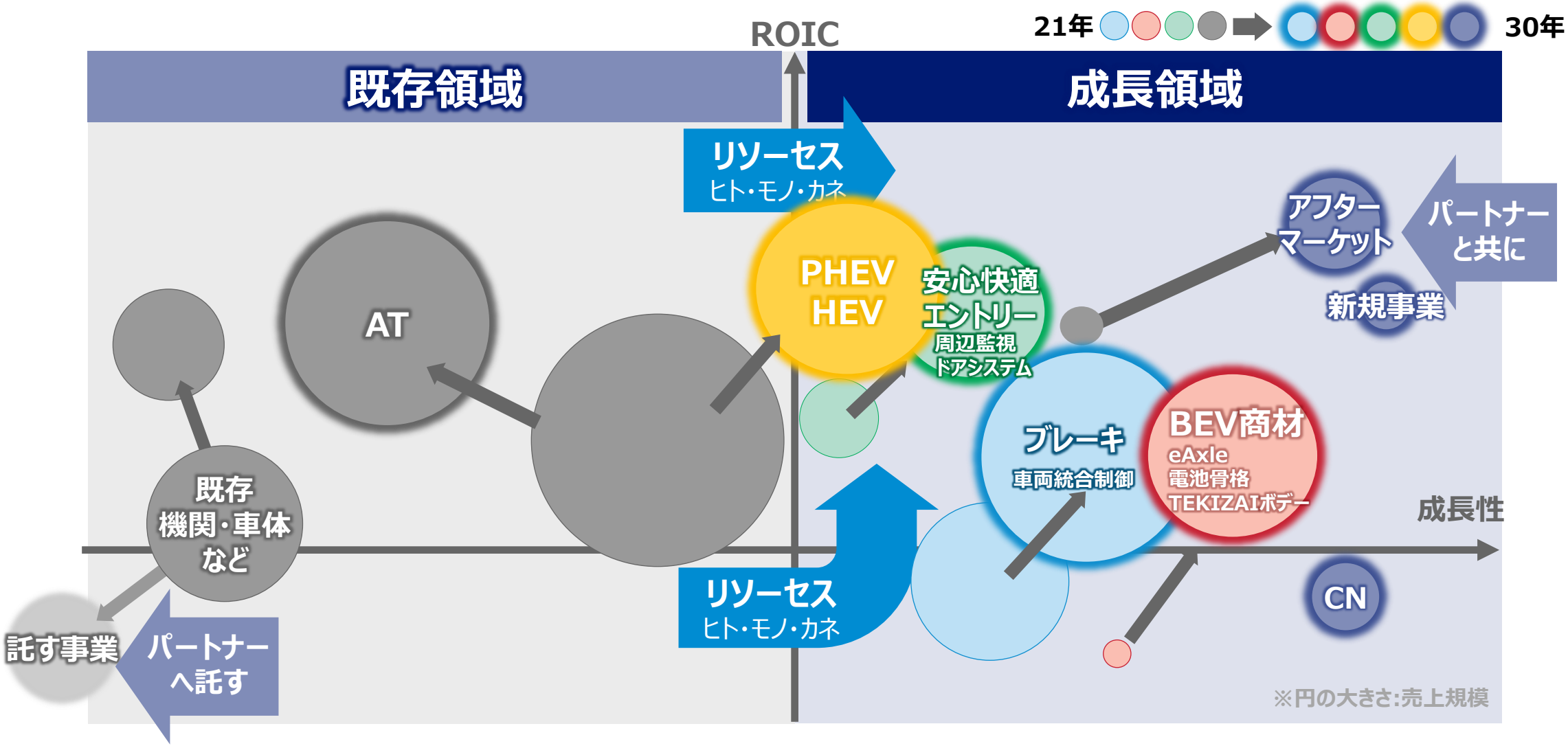
2030年経営目標

営業利益率 ： 8.0%以上
ROIC ： 13.0%以上
ROE ： 12.0%以上

2028年までの3ヵ年で過去最高の営業利益を更新し、ROE10%の達成を目指す

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

30年を見据えた事業ポートフォリオ



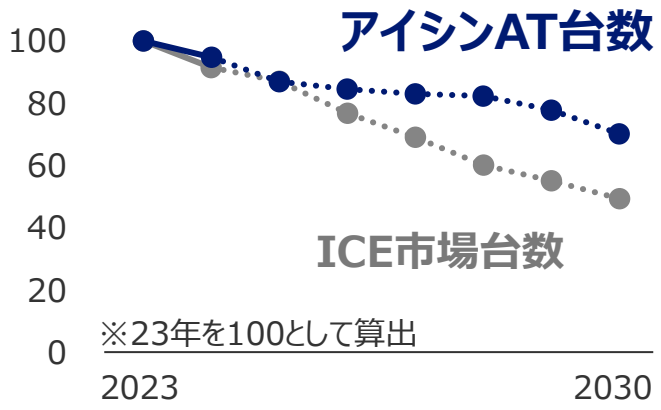
PHEV/HEV、ブレーキの収益拡大を軸に、事業ポートフォリオ変革を一層加速

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

更なるATシェアアップと強固な収益基盤の構築

シェアアップ

新興国需要等の獲得により
市場台数対比で緩やかな減衰

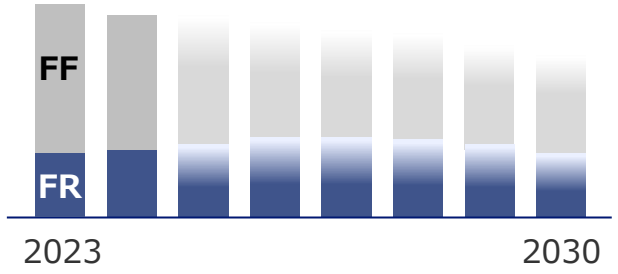


強みのFR

FRを供給可能なサプライヤーは
限定的、足元で引き合いが増加

販売台数イメージ

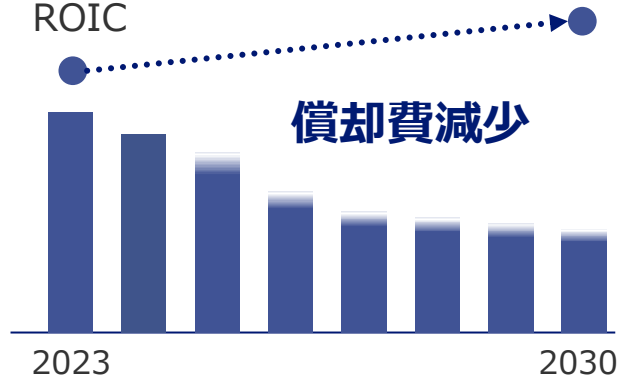
アイシンが強みを持つ
FRの台数は底堅く推移



高い収益性

既存設備を有効活用し
30年にかけてROICは向上

イメージ

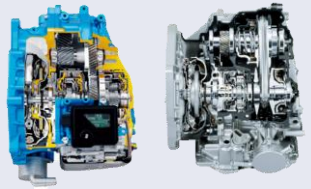


トピックス


米国現地工場

米国でマツダの6速ATを生産受託

- 顧客ニーズに応じた現地生産化対応
- 安定供給と競争力の強化に貢献


左: AT、右: CVT

AT・CVTをインド現地で生産

- インドでの自動変速機需要の獲得に向けて、現地での生産体制を強化
（既存工場の拡張と新工場を設立）

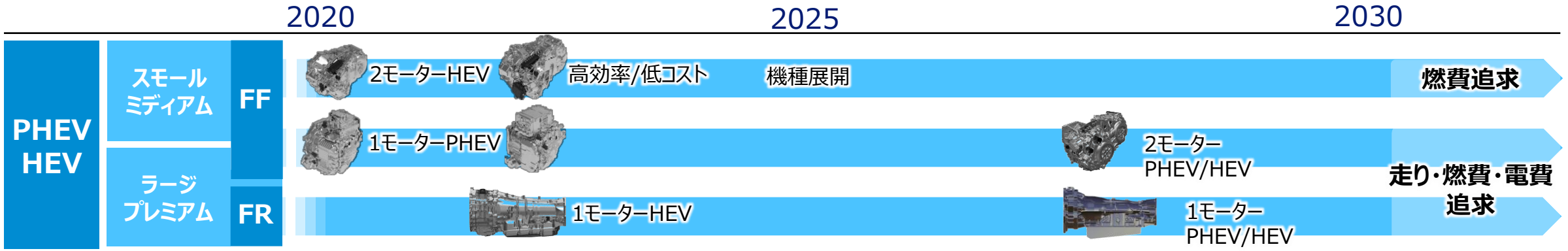
ICE需要取込によるシェアアップと既存拠点・設備の使い切りでROICを一段と向上

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

アイシンの成長をリードするPHEV/HEVの拡販

PHEV/HEVのラインアップ

スモールからラージ・プレミアムまでの幅広いラインアップを有する、グローバルPHEV/HEVサプライヤー



グローバル生産体制

日本・米国・中国・タイでの生産体制



累計生産台数
1,100万台以上

生産体制の拡充
- **北米・中国・アセアンでの現地生産を拡大**
- **HEVユニット増産本格化**
- **今後の需要増加に備えた生産準備実施**

トピックス



TOYOTA 新型RAV4にFF2モーターハイブリッドトランスミッション採用
- 加速性能と低燃費を両立

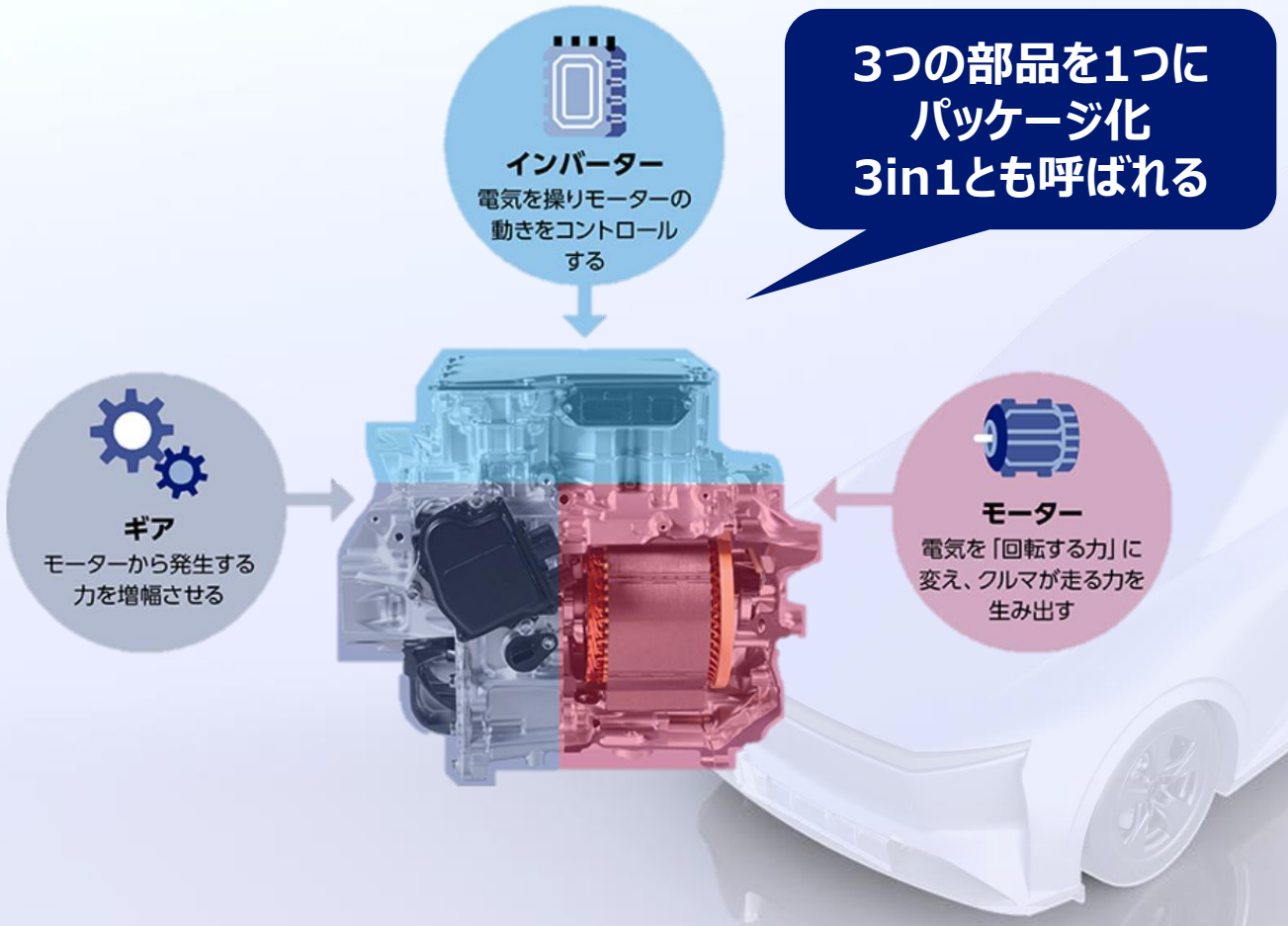
三菱自動車「エクスフォース」HEVにハイブリッドユニット採用

広汽集団のPHEV向けハイブリッドユニット受託生産

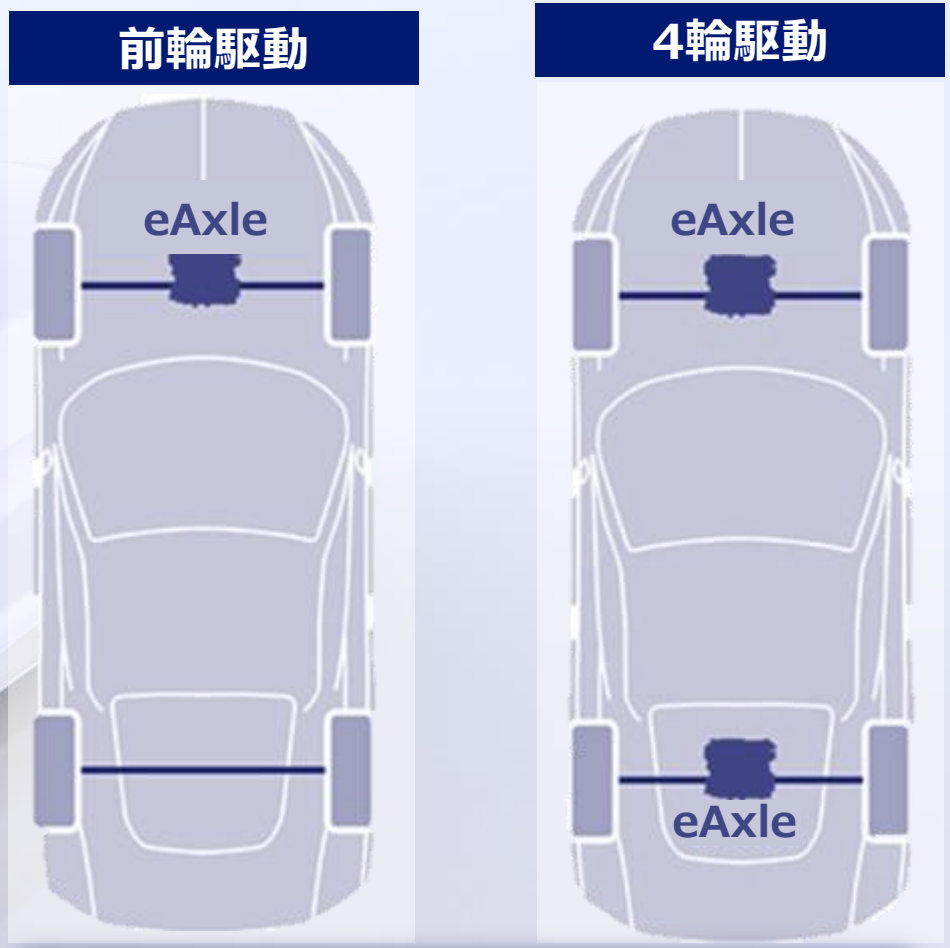
幅広い商品ラインアップを強みに、増加するPHEV/HEV需要を獲得

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

eAxleとは



オートマチックトランスミッションで培った技術・工法を活用



eAxleをフロント・リアに搭載することで
4輪駆動（4WD)に

BEVをはじめとしたモーターを主動力とするクルマに必要不可欠な駆動ユニット

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

eAxleラインアップと拡販戦略

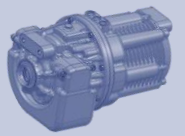
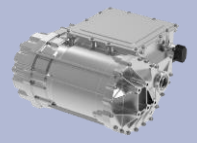
2020 2025 2030

第1世代 **第2世代** **第3世代**

戦い方

短中期
フルラインアップ化による顧客対応
・多様化する仕様への対応
・高効率化、小型化を低コストで実現

中長期
BEV本格拡大期に向け世界No.1製品開発加速
・革新構造による圧倒的な高効率&小型化実現
・小型化/パッケージ技術を活用した機能統合電動ユニット(Xin1)

スモール	 e VITARA向け	 **小型** ・同業他社比 40%小型化	
ミディアム	 bZ4X向け	 **高効率** ・同業他社比 30%損失低減 新型bZ4X向け	 **小型/高効率** **体格1/2化**
ラージ プレミアム		 **高出力** ・同業他社比 2倍の動力性能	 **機能統合電動ユニット (Xin1)** **電費・スペース効率の追及と組立て簡素化へ貢献**
Others		 **商用車向け** ・強度、信頼性、搭載性の追求	

※BluE Nexus、デンソーとの共同開発品

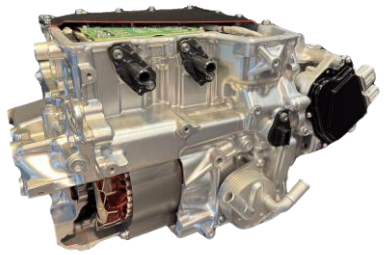
将来的なBEVの拡大を見据えて、eAxle第2世代を市場へ投入。第3世代の開発も進捗

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

eAxleの拡販

第1世代

スズキ初のバッテリーEV
「e VITARA」にeAxle※1採用



第1世代

ダイハツ初の
量産軽商用BEVバン
「e-ハイゼット カーゴ」
「e-アトレー」にeAxle※1採用



第1世代

いすゞ初の
バッテリーEVピックアップ
「D-MAX EV」にeAxle※1採用



（提供：いすゞ自動車㈱）

第2世代

新開発のeAxle※1が
TOYOTA新型「bZ4X」に採用



アイシンとBMWが「e-axle」※2の生産パートナーシップを合意（24/7/31発表）

BMWが設計する「e-axle」※2の受託生産に関する協業に合意
（長期的な戦略パートナーシップ構築の第一歩として、20年代後半から生産開始予定）

アイシン
（欧州・中国拠点で生産）
×
BMW
（e-axleの設計）

eAxleの拡販やカーメーカーとの協業・提携を着実に推進

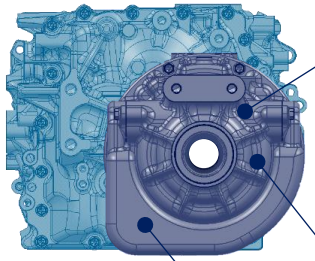
※1：当社、BluE Nexus、デンソーとの共同開発　※2：顧客名称を使用

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

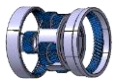
競争力の高いアイシンの機能統合電動ユニット（Xin1）

先行技術

150kW級比較
現行品×先行開発品

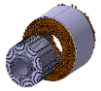


減速機



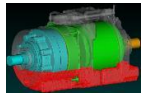
- 従来比+50%強度の独自特殊鋼
- 小型/高効率/高静粛を両立する歯車設計
- 精密加工技術

モーター



- 最適電磁気設計
- 最適ローター設計
- 冷却最適化
- 独自プレス技術

パッケージ



- 最適剛性設計
- 最適化流体設計
- 機能部品統合化
- 薄肉ケース鋳造技術

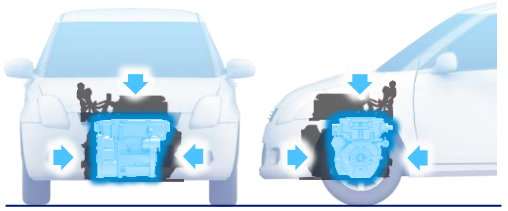
- 減速比を従来比2倍にし、モーターを小径化・高回転化
- 最適設計技術・新生産技術・制御技術により **体格1/2化の実現**

アイシンのXin1

構成



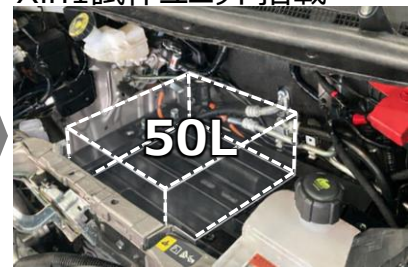
- **減速機**
  ギア/デフ
- **モーター**
- **統合ECU**
- **電力変換器**
  INV/DCDC/OBC
  DCAC/PDU
- **熱マネデバイス**
  W-OP/バルブ



量産車両

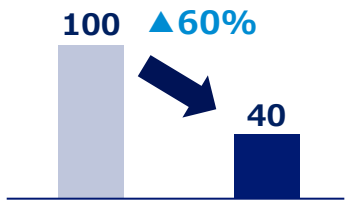


Xin1試作ユニット搭載

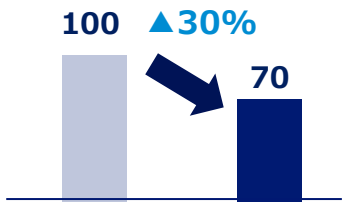


競争力

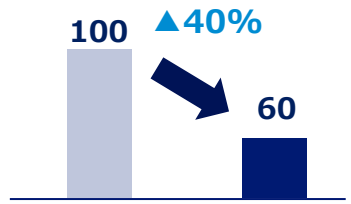
占有スペース
(デッドスペース含む)



主要部品点数
(車両部品含む)



質量



Xin1への強いニーズを背景に、複数のカーメーカーと協議中

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

ブレーキロードマップ

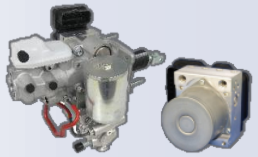
2025

2030

回生協調ブレーキ

エネルギー回収(航続距離延伸)

前輪/後輪独立制御ブレーキ



蓄圧式



現行型
(ギアポンプ加圧式)



新型
(シリンダポンプ加圧式)

電費向上**2.0**%以上

4輪独立制御ブレーキ

前輪：油圧
後輪：電動

電動パーキングブレーキ(EPB)

ADAS連携



キャリパー体式EPB

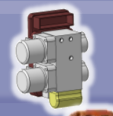


ドラム一体式EPB



大型車向け
キャリパー体式EPB

サステナファウンデーションブレーキ





4輪：電動
(ブレーキフルードレス)





キャリパ

軽量化・引きずり低減(電費向上)
洗練デザイン







電費向上
1.4%以上

パッド

環境負荷低減



・銅規制対応パッド
・摩耗低減パッド

BPE35年規制クリア

・ブレーキ粉塵規制('26,'35)

・フッ素化合物規制('30)

サステナブレーキパッド

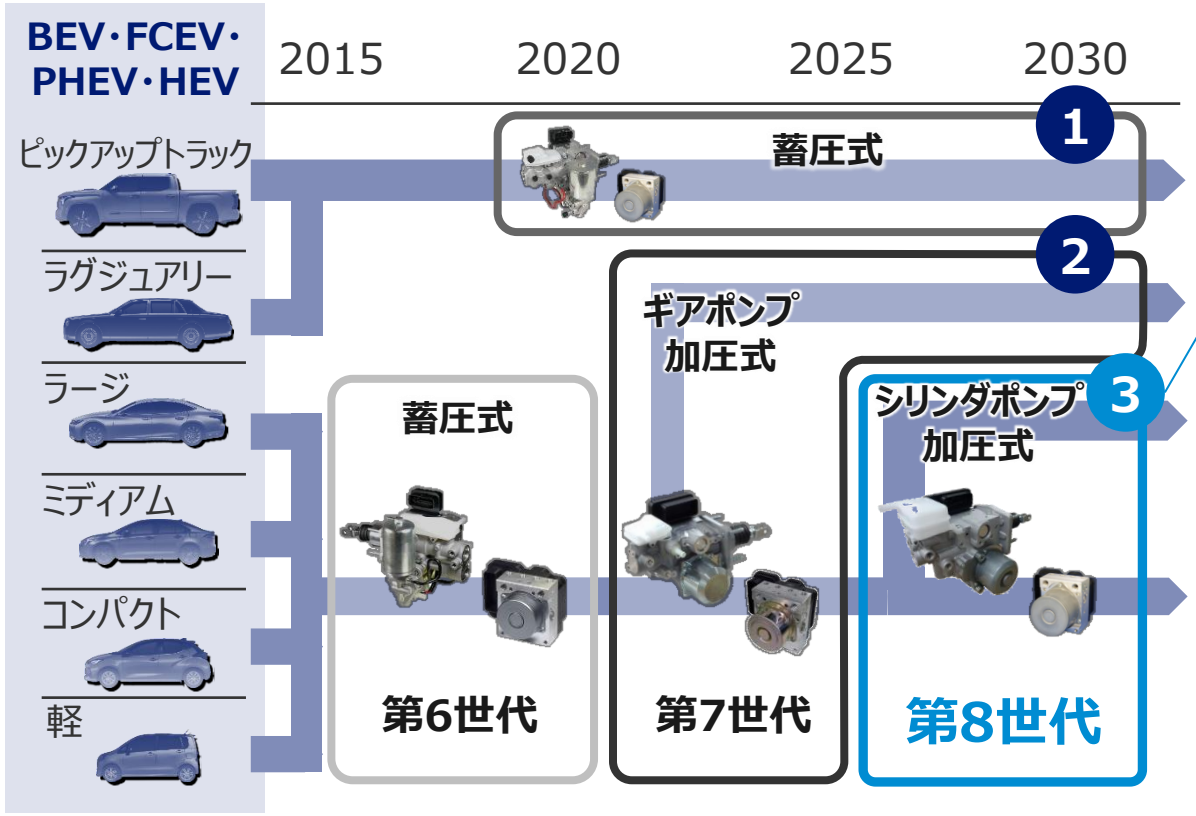
・粉塵低減×耐熱
・粉塵低減×錆落とし

電費や感性性能の強みを活かしグローバルに拡販

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

収益性を高めた第8世代回生協調ブレーキの拡大

回生協調ブレーキロードマップ



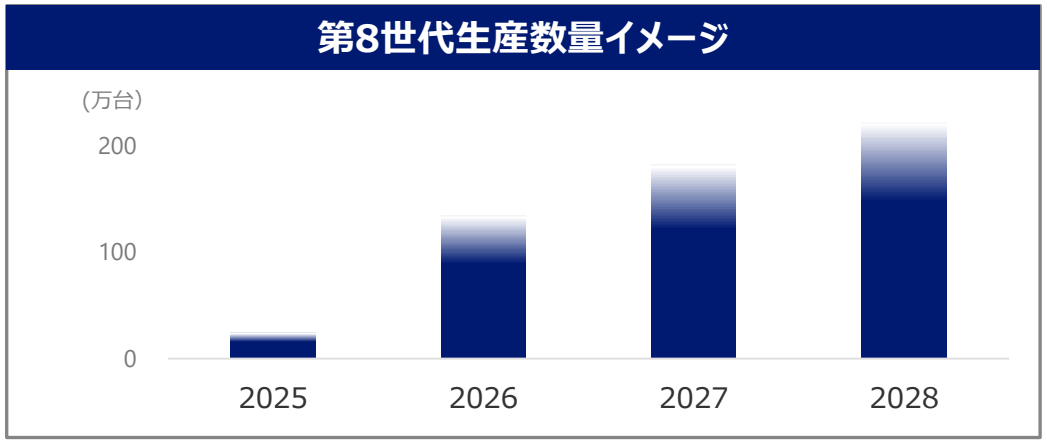
商品仕様

1. 蓄圧式の大流量高応答加圧による**大型/重量車向け仕様**
2. 固有技術のギアポンプによる**小型で高性能なプレミアム仕様**
3. 汎用技術の採用で**生産/収益性を向上させた普及版仕様**

   TOYOTA 新型RAV4に採用

第8世代生産数量イメージ

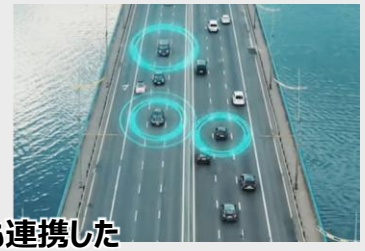
電動化進展及び拡販により、第8世代生産数量増加



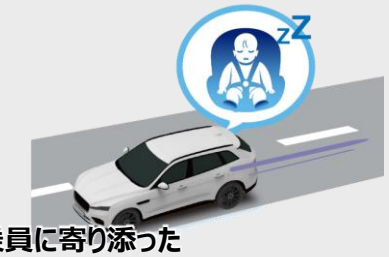
BEV・HEV市場の拡大を取り込み、拡販・収益強化

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

車両統合制御

インフラとも連携した
先読み運転支援 (死角、渋滞、雪道)

ドライバー・乗員に寄り添った
走り・移動のパーソナライズ

事故ゼロ

安心

安全

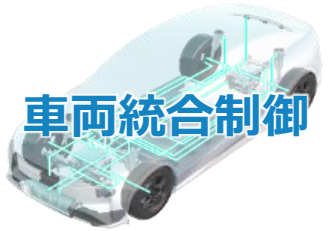
自動運転　車両診断　路面診断
ドライバー監視支援　緊急回避AEB

運転行動プロセス

周辺,行動,インフラ情報
知能化技術 で車内外相互連携

手動運転
ドライバー操作

自動運転
AD/ADAS



車両統合制御

最適な走り・乗り心地
↓
各コンポの最適動作


eAxle


回生協調ブレーキ


減衰力調整式アブソーバ


アクティブリアステアリング

信頼性の高いコンポーネント

認知・判断・動作の一連を統合し、安全・安心で人に寄り添う走りを実現
全てのデバイスを統合制御し、適合レスによる開発スピードUPでOEMに貢献

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

1. 会社概要

2. 事業環境とアイシンの強み

3. アイシンの中長期事業戦略

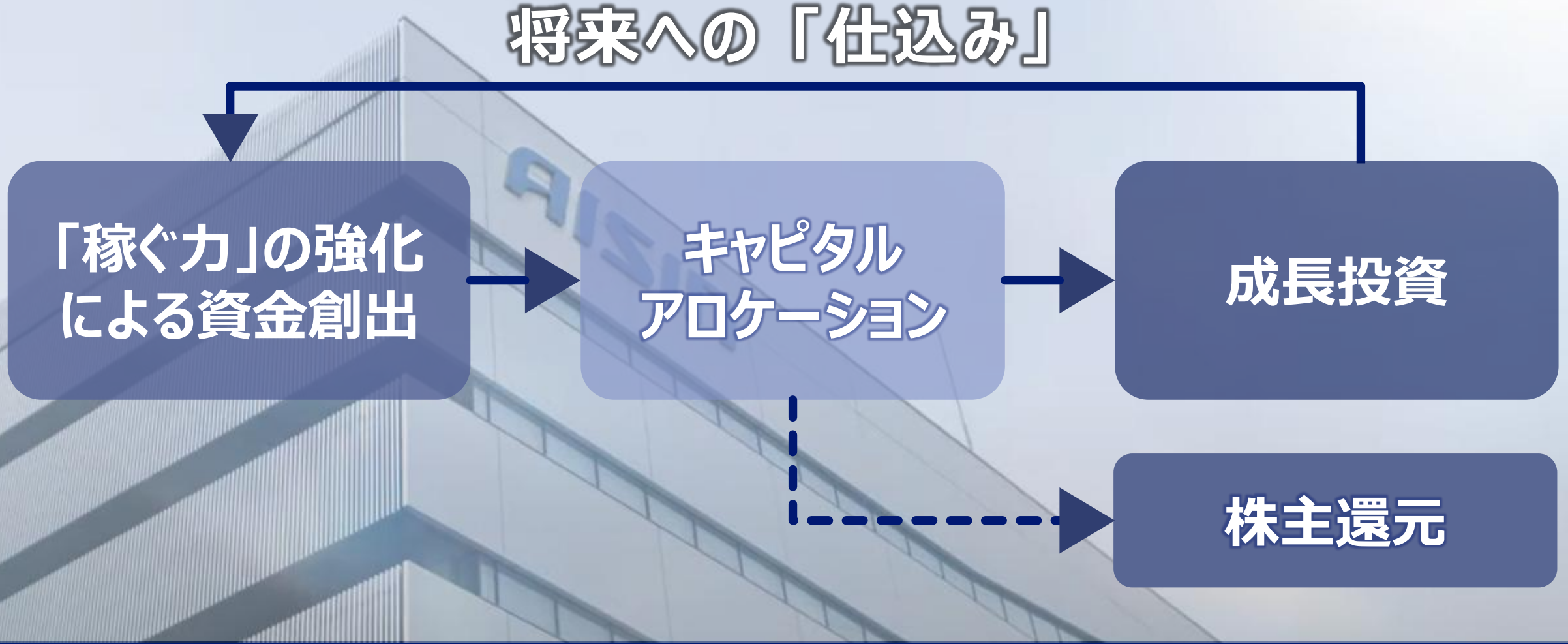
4. 財務戦略（資本配分と株主還元）

5. 本日のまとめ

4

 © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

持続的な成長に向けて



稼ぐ力での創出資金で成長投資を行い、持続的成長に繋げつつ株主還元も両立

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

キャピタルアロケーション

BSコントロール

バランスシートの質的向上
- 借入の活用や資産圧縮等を実行

営業キャッシュフロー

商品×地域×経営基盤強化で
アイシンの稼ぐ力を向上
- 地域ニーズに沿ったPTユニットの拡販
- ブレーキ商品の利益水準向上
- アフターマーケットビジネスの拡大
- 収益構造改革で質の高い利益を創出 等



成長投資

創出したキャッシュを優先的に配分
- 中長期での競争優位性確立
- 事業領域の拡大

株主還元

成長投資と株主還元を両立
- 安定的・継続的な株主配当
- 機動的な自己株式取得

基本的コア投資

設備投資
- 減価償却の範囲内で規律を持って
  コントロール

研究開発費
- 成長領域比率拡大と開発効率向上

稼ぐ力の向上により創出したキャッシュを、成長投資に優先配分しながら株主還元を両立

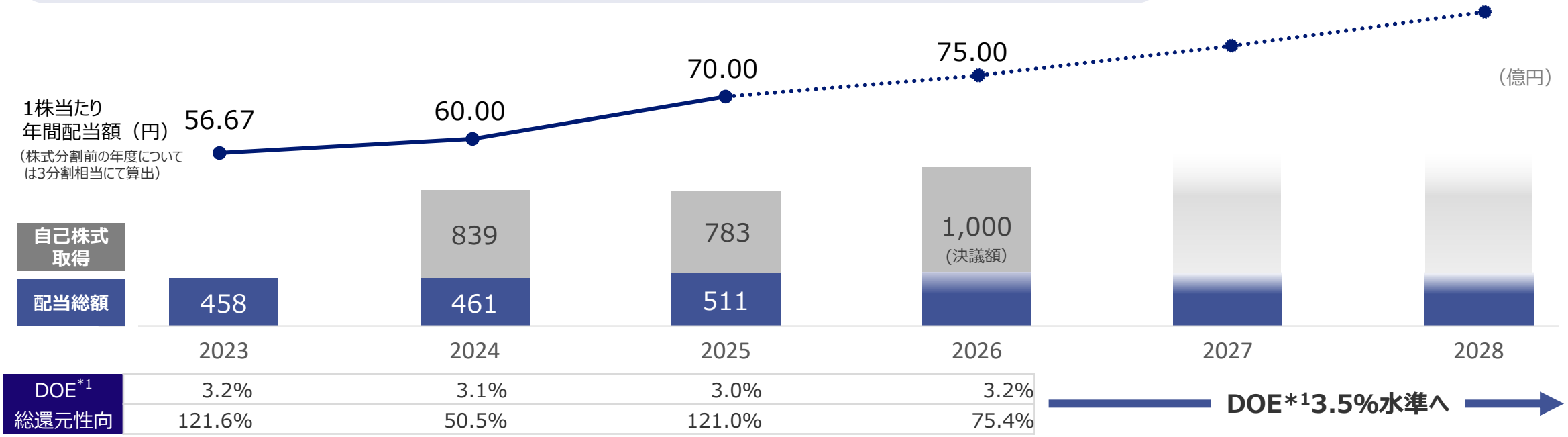
IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

株主還元方針

新たな配当指標としてDOE*1を採用
3.0%水準を起点に、ROEの改善を背景として、2028年度に3.5%水準を目安に段階的に引き上げていく

26年度は、25年度に続いて増配、及び自己株式取得1,000億円を予定*2

- ◆ **配当** **26年度は更に5円増配の75円（中間35円/期末40円）を実施予定**
- ◆ **自己株式取得** 25年度783億円を実施、**26年度は1,000億円を決定*2**



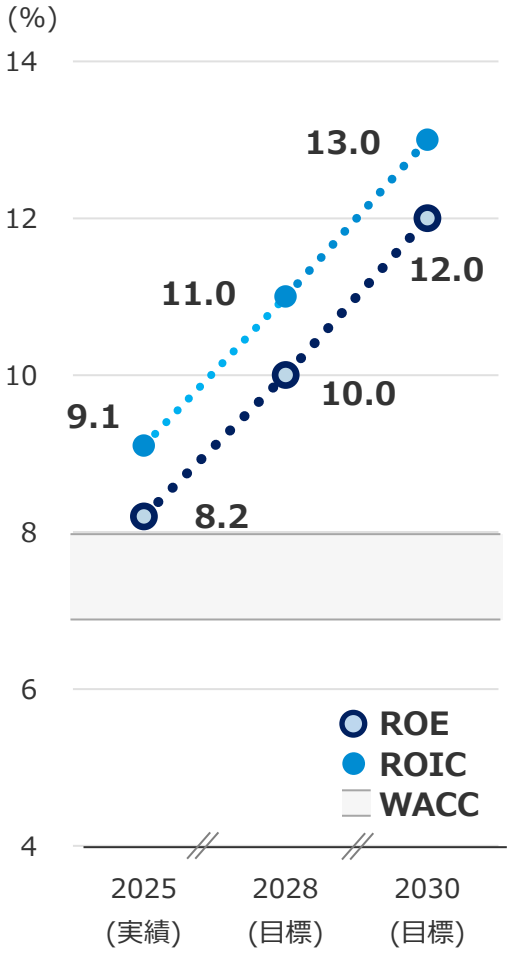
*1 DOEのベースとなる「親会社の所有者に帰属する持分」は為替や市場環境による変動の大きい「その他の資本の構成要素」を除外した調整後の数値を使用 *2 自己株式取得は決議額ベース

安定・継続的な株主配当及び機動的な自己株式取得を通じて株主還元を強化

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

企業価値向上に向けて

ROE/ROIC見込み



2028年中期経営計画の取り組み

企業価値向上（PBR向上）

28年ROE目標 10.0%

ROE向上

28年ROIC目標11.0%

商品×地域×経営基盤強化でアイシンの稼ぐ力を向上

- **AT・PHEV/HEVの収益拡大**
- パワートレインユニットの現地生産拡大
- **ブレーキ商品の利益水準向上**
- **アフターマーケットビジネスの拡大**
- 更なる企業体質改善に向けた収益構造改革

28年ROIC目標11.0%

事業資産コントロールによる資本効率の改善

- **事業資産を一定水準にコントロールしながら、30年に向けた事業ポートフォリオの変革を推進**
  - 託す事業の譲渡推進と既存事業資産の圧縮

キャピタリゼーション比率 25～30%

財務レバレッジの活用を通じた資本構成の最適化

適切なバランスシートコントロールを実施

- **安定的・継続的な株主配当、機動的な自己株式取得**
  - 株主還元方針として新たにDOEを導入
- 資本コストの低減に向けた負債の活用

PER目標 10～15倍

PER向上

業界平均 9～10倍

継続的な成長期待と非財務価値の向上

- **30年以降の価値創造に向けた仕込み**
- サステナビリティの高度化
- コーポレートガバナンスの強化
- **資本市場との積極的な対話**

2028年中期経営計画の着実な実行を通じて、持続的な企業価値向上をめざす

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

1. 会社概要

2. 事業環境とアイシンの強み

3. アイシンの中長期事業戦略

4. 財務戦略（資本配分と株主還元）

5. 本日のまとめ

5

 © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

本日のまとめ

Point 01

アイシンは、世界トップシェアの製品を複数保有し、
クルマの「走る・曲がる・止まる」を支える自動車部品メーカー

Point 02

足元はAT、HEV向けパワートレインユニットやブレーキなどの主力商品で収益を拡大。 28年及び30年の経営目標達成に向けて、事業ポートフォリオ変革を一段と加速

Point 03

持続的な成長に向けて成長投資に4,500億円を配分するとともに、
安定的・継続的な配当と機動的な自己株式取得で株主還元を両立

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

ご案内

会社ホームページ

株主・投資家情報に2028年中期経営計画の資料や説明会動画を掲載



アイシン　事業説明会

2028年中期経営計画｜株式会社アイシン　公式企業サイト

個人投資家様向けIRページでは会社概要などのより詳しい情報を掲載

個人投資家・株主の皆様に
アイシンのことをより深くご理解いただくための
情報をご案内します。





アイシン　個人投資家

個人投資家の皆様へ｜株式会社アイシン　公式企業サイト

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

Appendix

© AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

2026年3月期実績および2027年3月期予想（4月28日公表）

（ ）内は売上収益比率 【単位：億円】

		2026年3月期 実績		2027年3月期 予想		増減	増減率 %
売上収益		51,177	-	52,500	-	+1,323	+2.6
営業利益		2,287	(4.5)	2,350	(4.5)	+63	+2.7
税引前利益		2,479	(4.8)	2,450	(4.7)	▲29	▲1.2
当期利益*1		1,716	(3.4)	1,500	(2.9)	▲216	▲12.6
前提条件	為替レート 米ドル	151	円	150	円	▲1 円	▲0.7
	為替レート 中国元	21.2	円	21.5	円	+0.3 円	+1.4
	ﾊﾟﾜｰﾄﾚｲﾝﾕﾆｯﾄ販売台数*2	1,019	万台	1,070	万台	+51 万台	+5.0
	（内　電動ユニット*3）	(269)		(375)		(+106)	(+39.3)

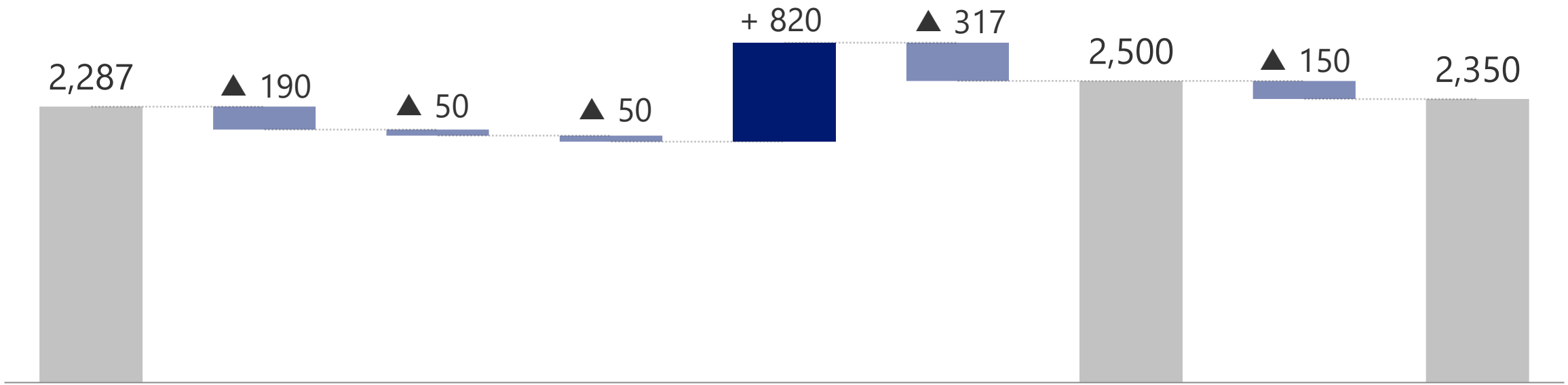
*1 ：親会社の所有者に帰属する当期利益

*2 ： AT, CVT, HEV, eAxleの合計販売台数　*3 ： HEV, eAxleの合計販売台数

 © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

2027年3月期予想 営業利益増減（4月28日公表）

【単位：億円】



売上・構成変動等 内訳

正味売上増減	+ 318
売価・構成変動	▲ 508

為替変動 内訳

米ドル	▲ 17
中国元	+ 20
ユーロ	+ 0
バーツ	▲ 53

企業体質改善努力・構造改革効果

“中身”を変え“力”をつける「フルモデルチェンジ」のために”SPEED&AGILE”に構造改革を推進

新製品・電動化製品投入による収益性向上
課題拠点の収益改善
聖域なき固定費の削減　等

人・将来への投資

人的資本への投資拡充
電動化・知能化への研究開発投資
電動化生準投資
等

 © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

財務戦略（成長投資）

中長期での競争優位性確立

競争力強化への追加投資

- 拡販加速・シェアアップ
- 商品の付加価値向上

2,000億円水準

- **次世代BEV・PHEV向けパワートレインユニット開発**
- **成長市場での競争力強化**
  - インドでのAT現調化
  - 回生協調ブレーキ現調化
- サステナブル投資(素形材等) 等

従来の発想にとらわれない戦略投資

- パートナー連携
- アセットライト投資

1,000億円水準
（M&A投資枠を含む）

- **電動化・知能化領域の強化に向けたリソーセス獲得**
  - 先端要素技術
  - ソフトウェア、センシング領域
- アフターマーケット戦略投資 等

事業領域の拡大

事業基盤革新・人への投資

- 生産性向上・高効率実現
- 働きやすさ・働きがい向上

1,000億円水準

- **デジタル基盤刷新**
- **工場の景色を変える省人化**
- リソーセスシフト/リスキル推進
- **生産性と働きがいを高める就労環境の整備** 等

新規事業創出に向けた投資

- 培った強みの徹底活用
- 事業を通じた社会課題解決

500億円水準

- **エネルギーマネジメント、水素**
- **ペロブスカイト太陽電池**
- **バイオ燃料 Bio-M-Coke®**
- CVC投資の加速・強化 等

中長期での持続的な成長に向けて、更なるリターン創出につながる投資を軸に資本を配分

IR Presentation / July 3, 2026 / © AISIN CORPORATION All Rights Reserved.

We Touch the Future

【将来の見通しに関する注意事項】

当社が開示する業績予想、将来の見通し、戦略、目標等のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は将来の見通しに関する記述であり、
これらは、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断される一定の前提に基づく計画、期待、判断を根拠としております。
したがって、実際の業績等は、経済情勢等様々な不確定要素の変動要因によって、開示した業績予想等と異なる結果になる可能性があります。
本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社および当社の従業員等は一切責任を負いません。